

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 1

平成23年7月11日発行

発刊元：まつざわかみなど（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.5

私とあなたの中にモノがあること それが相手と円滑に話し合うための「仕掛け」

7月4日
昼コース

昼コース第3回目。今回は、前回終わりの時間に少しだけ触れた「ハンズインカフェ(手を動かしながらの話し合い)」の第2回目。自分の持ち味を、他の人とも一緒にできるような形で「見せ方」を工夫し、小グループに分かれて見せ合ったり、教えあったりしてみる(一部を下で紹介)。今回、気づいたことは、相手とより円滑にコミュニケーションするためには、ちょっとした「仕掛け」をどう工夫できるかが大事なかもしれないということ。相手と自分との間に、何か見たり、触れたり、作れたりできるモノ(素材)が置いてあることが、安心感をもたらしてくれるのだ。というのも、そういったモノが何もなく、ただ相手と向き合っているだけだと、「沈黙」がかなり怖い。なにか話題を出そうと焦ったりもする。その点、何かモノがあれば、そのモノに触れながら感じたことや思いついたことが自然と話題となるし、時には手を動かすことに没頭して会話から離れても、相手に不快な印象を与えない。普段私たちが自然とやっていることなのかもしれないが、これは「人とつながる」ときに欠かせない要素?といえるのかも。今日の経験を踏まえて、もし初対面の方や、あまり馴染みでない方と会う機会があったら、ちょっとした何かを「間」に置いて話をしてみる。そんな「実験」をしてみたらどうだろうか?

後半には、シヨップとアートの切り口でやわらかなグループ分けをし、それを基本に今後は活動を展開していく。活動にはアイデアが必要だが、アイデアが出やすいような場づくりも考えていけたら◎。(記事：川上)

↓ハーブの虫除けスプレー

ハーブを使って、5分くらいで簡単につくれちゃうスプレー。ハーブなので体にもよくて、香りもgood!!



↑手作りコマ

発泡スチロールや、固めのプラスチックなど、身の回りの素材をつかって簡単に作れるコマ。テーブルの上にあるとやはり回してしまい、昔話に花が咲きます。

↓切り絵うちわ

真っ白のうちわに、好きな模様の色紙を切って、貼ってつくる。さまざまな模様がうかびあがってなんとも涼しそう。前回素材に出た和紙も活用できそうだ。



↑ぐるぐる糸巻き

自分の好きな色の糸を何種か選び、オリジナル糸が作れる。足元にある毛玉が、糸がひっぱられるとくねくね動く。子どもやネコが夢中になって集まってきそうなんて話も。

コラム 発想する!タ・ネ③

今回の主題は、「阿佐谷七夕まつり」について。このお祭りははじめたのは昭和29年。お祭りを始めた経緯は、「戦後の混乱が続いていた最中に、まだ冷蔵庫が珍しい時代、当然冷暖房装置のない暑い盛りの8月にも、何とか自分たちの阿佐谷の街に大勢の人を集めることができないだろうかと頭をひねって…日本全国の夏祭りを視察に行った」そうで、その結果、「阿佐谷の街には七夕まつりが一番ふさわしいと結論」づけ、「無我夢中で第1回目を開催」したとのこと。商店街の方たちが、本当に手探りではじめたようだ。その歴史がつづき、今でも4日間で数十万人が来場する祭りとなっている。当初は、紙の花で飾りつけを工夫しただけだったが、1968年にアーケードが完成したのち、試行錯誤をしながらハリボテをつくりはじめたようだ。自分たちの街にさらなる活気を呼び起こすためには、事例の探求と工夫が必要なのか、と考えさせられる。今年の開催は5日~9日。ぜひ足を運んでみよう。(参考：阿佐ヶ谷パールセンター公式HP)



昨年、大人塾の卒業生の方たちが製作したハリボテ。右はみんなが知っている「パー・パー・パパファミリー」。左は、「だがしや楽校」のイメージを形に表したもので、さまざまなアイデアやモノが飛び出てくる魔法のつぼ。どちらもとってもユニークだ。

テーマは杉並！自分の関心・出来ることを発見 ゲストの話から感じよう、見つけよう！

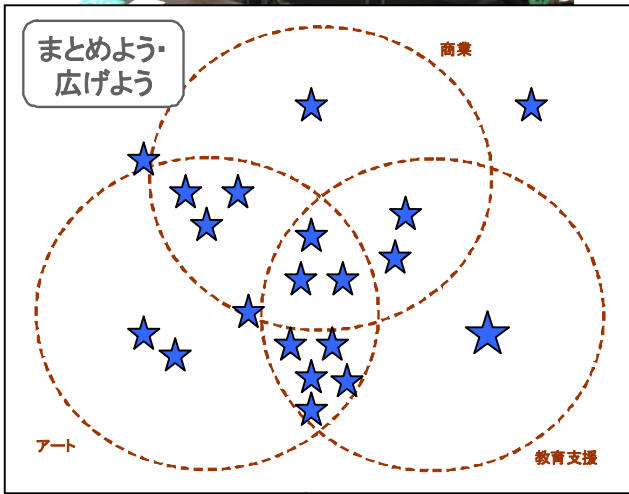
7月6日
夜コース

- 1 3人のゲストからお話を聞いてみよう
キーワード程度のメモでOK
- 2 まとめよう！ 3人のお話の共通点
ワークシートにキーワード配置
- 3 深めよう！ ゲストに質問しよう
- 4 広げよう！ 自分の関心・関わり・可能性
関心×手段で地域の課題を考えるヒントに。



本日は公開講座。視聴覚室の前方に3人の方が並ぶ。
夜コース4回目は実際に杉並で活動されている方をお呼びし、直接お話を伺うこと。ゲスト講師は、アート分野からイラストレーターの土屋稔さん、教育分野から永福小学校学校支援本部長の鈴木玲子さん、商業分野として小杉湯経営の平松茂さんの3名である。学習支援補助者の手塚さんは言う。「実際になかなかこういう話を聞く機会はありません。それぞれの分野の方から、実際に地元はどうなっているのか、杉並でどんなことがおこっているのかを聞いて、杉並を考えるきっかけとしてください。そして、どんなふう地域の中でそれぞれが繋がっているかを考え、最後に自分がどんなふうにつながれるといいかを考えてください」。関係がないようで、案外各分野の課題は繋がっている。それに気づき、自分の出来ることを見つけるのが今日の課題だ。

3人の方の話は大変興味深く、講義に続くヒヤリングでも受講生から質問が絶えず、時間が足りなく感じられた。共通して言えることは、3方とも地域を巻き込むこと、区民同士の交流、新しい試み、それらを常に念頭において、チャレンジし続けていることだ。「知らないことがいっぱいあった」という受講生の声の中、各自キーワードを書き出し、関心・関わりシートの作成を行った。次はいよいよ実際に動いてみることに。街歩きに向けての準備がスタート！（記事：湊）



受講生の関心マップ。の★微妙な位置にも注目！



平松茂さん↓
「古いことを大事にすると同時に若い人を巻き込む工夫をしている。QRコード→会員登録→ヤクルトプレゼントなどしている。」



鈴木玲子さん↑
「子供たちの将来を考えて、どうあって欲しい！と思うことを支援していくことを心がけている。」

土谷稔さん↑
「アートを認める余裕が今世の中にない。子供も自由な発想ができなくなっているのが心配。」



◇今月の大人“塾”人 じゅくと 大人塾に参加中の…イカした！大人たちに聞きました！

① 出身 ② 自分の好きなお店、嫌いなお店 ③ 自分のつながりPR

☀ 小澤 恵一さん♀
①東京都
②好き：まっすぐ、ごまかしはきらい。前向き 嫌い：誤解されやすい、おしゃべりが苦手
③自分の町・地域についてお話をしたい。緑のカーテンをしていてお花がいっぱい。

☀ 井上 明さん♀
①東京都
②好き：活発・元気・公共心 嫌い：ありますけど、公表しません！
③柏の宮公園で田んぼの会をやっています。収穫祭が10月～11月！

🌙 島崎 真二郎さん♂ 島ちゃん
①港区虎ノ門 ①好きな場所：恵比寿ガーデンプレイス
③カラオケ 石原裕次郎の歌が好きです。良いお店を教えてください。

🌙 黒澤 麻里さん♀ Mari chan ①東京都
玉川上水 神田川付近
②好き：義理人情に厚い 嫌い：自己PRが苦手
③日本の古いもの・伝統のあるものに魅力を感じています都内のスポット教えてください、お願いします。

□すぎなみ大人“塾”してる？の発行にあたって□

この新聞は事務局スタッフ松坂・川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。